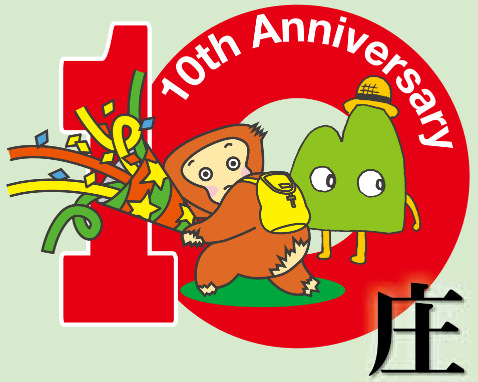
庄原市制施行10周年記念特集

ふるさと庄原
―次のステージへ―

平成17年3月31日、庄原市・西城町・東城町・口和町・高野町・比和町・総領町の1市6町が1つになり、新庄原市が産声を上げました。あれから10年。めでたく市制施行10周年を迎えました。この10年を振り返りながら、次の10年への新たなスタートを切った庄原市のこれからを共に考えていきたいと思います。今月から6カ月連続で記念特集をお届けしていきます。



庄原市10年の歩み

年	月	庄原市の主な出来事
2005（H17）	3	1市6町の合併により、新庄原市誕生
	3	庄原市カープ応援隊結成
	3	リサイクルプラザ・一般廃棄物最終処分場竣工
	4	初代庄原市長に滝口季彦氏が就任
	8	非核平和都市宣言
	9	合併記念式典開催
	12	高野で積雪166センチを記録
2006（H18）	1	記録的な豪雪。被害が多発
	3	県立広島大学と包括的連携・協力協定締結
	3	東城保育所竣工
	4	田総の里スポーツ公園全面オープン
	4	あけぼの荘リニューアルオープン
	7	記録的な豪雨災害発生
	8	庄原市農林振興公社設立

新庄原市誕生（2005.3）

県立広島大学と包括的連携・協力協定締結（2006.3）

大相撲庄原さとやま場所開催（2010.10）

オープンガーデンスタート（2011.5）

年	月	庄原市の主な出来事
2010（H22）	7	合併5周年記念NHKのど自慢開催
	10	中国綿陽市友好締結20周年記念式典
	10	庄原さとやま博開幕
	10	庄原市運動広場の愛称「さくら球場」に決定
	10	大相撲庄原さとやま場所開催
	10	備北西部地区農道全線開通
2011（H23）	1	月に1度のロビーコンサートがスタート
	1	小奴可保育所新園舎完成
	1	三楽荘が国の登録有形文化財に登録
	2	韓国ドラマ「Sign」が庄原市でロケ
	3	篠堂川復旧記念碑建立
	3	高野中学校が移転
	4	君のいる町×庄原市コラボレーション事業開始
	4	庄原市地域医療連携ネットワークシステム運用開始
	4	高野町湯川地区農業集落排水事業完成
	4	久保善博さんに市民栄誉賞授与

年	月	庄原市の主な出来事
2006（H18）	8	市の花（桜）、市の木（ブナ）制定
2007（H19）	1	長期総合計画策定
	3	敷信みのり保育所竣工
	4	上野総合公園エリア拡大オープン
	4	庄原共同調理場竣工・庄原中学校完全給食開始
2008（H20）	1	市役所新庁舎着工
	3	ドルフィンバレースキー場閉鎖
	3	市内9小学校が休校・比和、山内小が統合スタート
	3	山内地区農業集落排水施設完成
	4	国営備北丘陵公園北入口オープン
	4	リフレッシュハウス東城木質チップボイラー稼動
	4	西城・高野学校給食共同調理場スタート
	5	クラスターのまちプロジェクト開始
	12	緊急経済・生活支援対策本部設置
2009（H21）	3	庄原市役所新庁舎竣工
	3	庄原格致高校高野山分校閉校
	4	庄原市長に滝口季彦氏が再選
	5	庄原市総合体育館入館者100万人達成
	6	庄原市の地域医療を考える会発足
	6	三軒茶屋竣工
	7	三楽荘取得
	9	市民ひろば完成
	11	庄原さとやまペレット㈱設立
2010（H22）	1	市民タクシー事業開始
	1	庄原雪資源活用プロジェクト協議会が雪室を建設
	3	比和小屋内運動場完成
	3	庄原市森のペレット工場完成
	3	内堀小・帝釈小が休校
	4	東城まちなか交流施設「えびす」オープン
	4	紅梅通り三軒茶屋オープン
	5	街道東城路が夢街道ルネサンスに認定
	6	観光キャラクター「キョロやまくん」誕生
	7	庄原市豪雨災害発生
	7	庄原焼き誕生
	7	移動販売車「あんしん号」運行開始

国営備北丘陵公園北入口オープン（2008.4）

市役所新庁舎完成（2009.3）

森のペレット工場完成（2010.3）

キョロやまくん誕生（2010.6）

比和自然科学博物館地学分館オープン（2012.7）

野外音楽ライブSETSTOCK終了（2012.8）

松江自動車道開通・道の駅たかのオープン（2013.3）

比婆牛振興に関する協定締結（2014.7）

年	月	庄原市の主な出来事
2011（H23）	5	初のさとやまオープンガーデン実施
	12	庄原市まちづくり基本条例制定
2012（H24）	3	庄原中学校新校舎完成
	3	高野高原スキー場閉鎖
	4	国営備北丘陵公園グランドオープン
	4	総領地域で過疎地有償運送「こまわりくん」運行開始
	4	一般社団法人庄原市観光協会設立
	7	比和自然科学博物館地学分館オープン
	7	まちなか広場オープン
	7	食彩館しょうばらゆめさくら来館者300万人達成
	7	広島県北部地域移動診療車運行開始
	7	久岡昇さんに市民栄誉賞授与
	8	10年続いた野外音楽ライブSETSTOCKが終了
	10	石原和幸さん庄原市ふるさと大使に就任
2013（H25）	2	東城自治振興センター・東城文化ホールが完成
	3	松江自動車道開通・道の駅たかのオープン
	3	休日診療センター竣工
	3	下高保育所閉所
	3	庄原保育所・高野保育所園舎完成
	4	庄原市休日診療センター開設
	4	木山耕三庄原市長誕生
	4	林英哲さんに市民栄誉賞授与
	7	比婆道後帝釈国定公園指定50年
	11	庄原いちばん基本計画策定
	12	庄原赤十字病院増改築完了
2014（H26）	1	超高速情報通信網整備事業方針決定
	2	東城小学校新校舎・共同調理場完成
	3	谷繁元信さんに市民栄誉賞授与
	3	市民会館駐車場完成
	3	庄原中学校改築事業完了
	7	あづま蔓振興会設立・比婆牛振興に関する協定締結
	7	公式フェイスブックページ庄原いちばんええね開設
	8	西田篤史さん庄原ふるさと大使に就任
	8	木の駅プロジェクト本格始動
	10	庄原ダム定礎式

次の10年へ、庄原市にエール

市民の皆さんに、庄原市への思い、今後への期待の声を聞きました。

合併したことで、市町の交流、人の流れができ、交流人口が増えたと思いますし、市町の垣根はなくなってきたと感じています。

ただ、これまでの10年は準備期間。これからが本番だと思います。それぞれの分野で頑張っている人、グループ、地域がつながりあうこと、これまで以上に地域と行政、農林業、経済界が連携することが大切です。また、それぞれの地域性は大事にしながらも、旧町という枠にとらわれず、オール庄原という視点で取り組むことが、これからのまちづくりには不可欠だと思います。

課題はつきものですが、住む人も訪れる人も心が満たされる、そんなまちになってほしいですね。

伊藤郁夫さん（西城町）

庄原市は田舎というイメージで、生活するのに不便かと思っていましたが、住んでみるとそんなことはなく、人のつながりもあたたかいですし、とても住みやすいと感じています。

人と人とのつながりは、都会にはないものがあると思いますが、庄原に住んでいる大学生がそうした地域の人と接する機会が少なく、非常にもったいないと感じています。そうした接点をもっとつくっていければ、学生も庄原に愛着を持ってくれると思います。県立大学は地域づくりにも大きな力になると思いますので、地域と大学の距離を縮めていくことが重要だと思います。

岩瀧朋子さん（口和町）

この10年で人も地域も「庄原市」に馴染んできたように思いますし、さまざまな面で良い方向に変わってきていると感じています。

特に合併して良かったと感じることは、自治振興区ができたこと。以前は何をするにも行政が主導し、住民は受け身でしたが、〝自分たちのまちは自分たちでつくる〟という意識が住民の中に浸透しつつあり、それまであまりなかった庄原市全域の地域間交流も行われ、まちづくりに結びついていると感じます。

課題は当然ありますが、常にポジティブで取り組むことが何より大切だと思います。中国やまなみ街道を含め市内の施設や道路などのハード面は充実してきましたので、これからはソフト面、教育面の充実に期待したいですね。

子どもたちが、庄原が好きだと思える地域でなければ、今後どんどん市外へ出て行ってしまうばかりなので、子どもたちが成長する過程で「庄原が好き」「庄原に残りたい」と思ってくれるよう、大人たちが努力していくこと。子どもに愛される地域づくりをみんなで進めていきたいですね。

仲　正人さん（三日市町）

延清　圭祐さん（総領町）

保険料などの料金を低く抑えるなど、良い方向に統一されたと思いますし、旧役場の機能を維持しながら、自治振興区との協働によるまちづくりを進めるなど、他市と比べてもうまい合併をしていると評価しています。

今後はやはり定住対策が欠かせないと思います。定住者を増やす一案として、市営住宅の販売を検討してみてもいいと思います。他市では設計段階から転入家族の意向を聞き、住宅建設をして成果が上がっているところもあるようですので、そういった視点で事業を進めることで、転入者増にもつながるのではないでしょうか。

倉岡美由貴さん（比和町）

比和支所２階の旧議場を改修してできた比和自然科学博物館地学分館は特に自慢したい施設です。収蔵品の数・質ともにすごく、来られた方にはとても好評です。ですが、まだまだ知られていないのが残念ですし、もったいないです。中国やまなみ街道が開通したことで、人の流れを実感しますので、もっとアピールして、多くの人が訪れてくれたらいいですね。

それと、比和では良質のそばが取れますが、食べられるお店が町内にないので、お店が出来れば、吾妻山から博物館、そばを食べて－といった周遊ルートができ、訪れる人ももっと増えると思います。

林　美千恵さん（高野町）

やはり大きな出来事は、中国やまなみ街道の開通、道の駅たかのが出来たことですね。

にぎわいが生まれていることもありますが、加えて、高齢者の方の活躍の場も広がったと感じています。それを実感したのが、上高自治振興センターで行っている、地元の高齢者の方にお世話になっている俵作り。作成された俵が道の駅で売れたことで、ものすごく励みになったようです。俵作成の実演会も好評で、皆さんとても生き生きとされています。そうした高齢者の方のパワーをもっと生かせることができれば、もっと元気なまちになると思います。

合併した年に生まれた東城ファイターズの5年生に聞きました。

①まちの好きなところ
②どんなまちになってほしい？

重藤　拓夢くん
赤木　俊くん
関　大智くん
妹尾　清音くん
入江信乃介くん
下原　響くん

関くん　：①雄橋などの自然とおいしい食べ物
　　　　　②事故のないみんなが安心してくらせるまち
入江くん：①亥の子など昔から続いている行事
　　　　　②川や空気がずっときれいなまち
下原くん：①東城運動公園②どんな人でもスポーツが楽しめるまち
妹尾くん：①昔の建物が受け継がれているところ
　　　　　②やりたいことが何でもできるまち
重藤くん：①人が優しい②昔の町並みや建物が残るまち
赤木くん：①自然が豊かなところ②安心してずっと暮らせるまち

「東城大好き！」とみんな笑顔で話してくれました。

市制施行10周年記念協賛事業を募集

記念すべき市制施行10周年を市民の皆さんとともに祝うため、平成27年度中に各種団体、企業などが実施する事業・イベントを『市制施行10周年協賛事業』として募集します。

【対象となる事業】
①4月1日から平成28年3月31日までの期間に実施される事業
②市制施行10周年を記念した事業で、市の活性化やＰＲにつながる事業
③市民参加による地域の特色を生かした事業

【対象団体】
民間団体、文化・芸術団体、各種スポーツ団体、自治振興区、公共団体など

【協賛内容】
協賛事業として承認された場合は、次の支援を受けることができます。
①庄原市制施行10周年記念ロゴマークを利用することができます。
②市のホームページにイベントなどの情報を掲載します。
③申請により補助金を受けることができます。（記念ロゴマークの使用とは別に申請が必要です。）

【申請受付期間】
●記念ロゴマーク利用
　11月30日まで
●協賛事業補助金
　10月31日まで
※申請書は総務課または各支所総務室に備え付けてあります。市ホームページからもダウンロードできます。
詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ
総務課行政係　☎0824-73-1123